事例紹介

中心市街地活性化計画と公共交通施策等について

盛岡市都市整備部都市計画課

本日の内容

1．盛岡市の概要について

2．盛岡市中心市街地活性化計画について

3．盛岡市の交通計画について

（1）盛岡市オムニバスタウン計画

（2）自転車利用促進施策

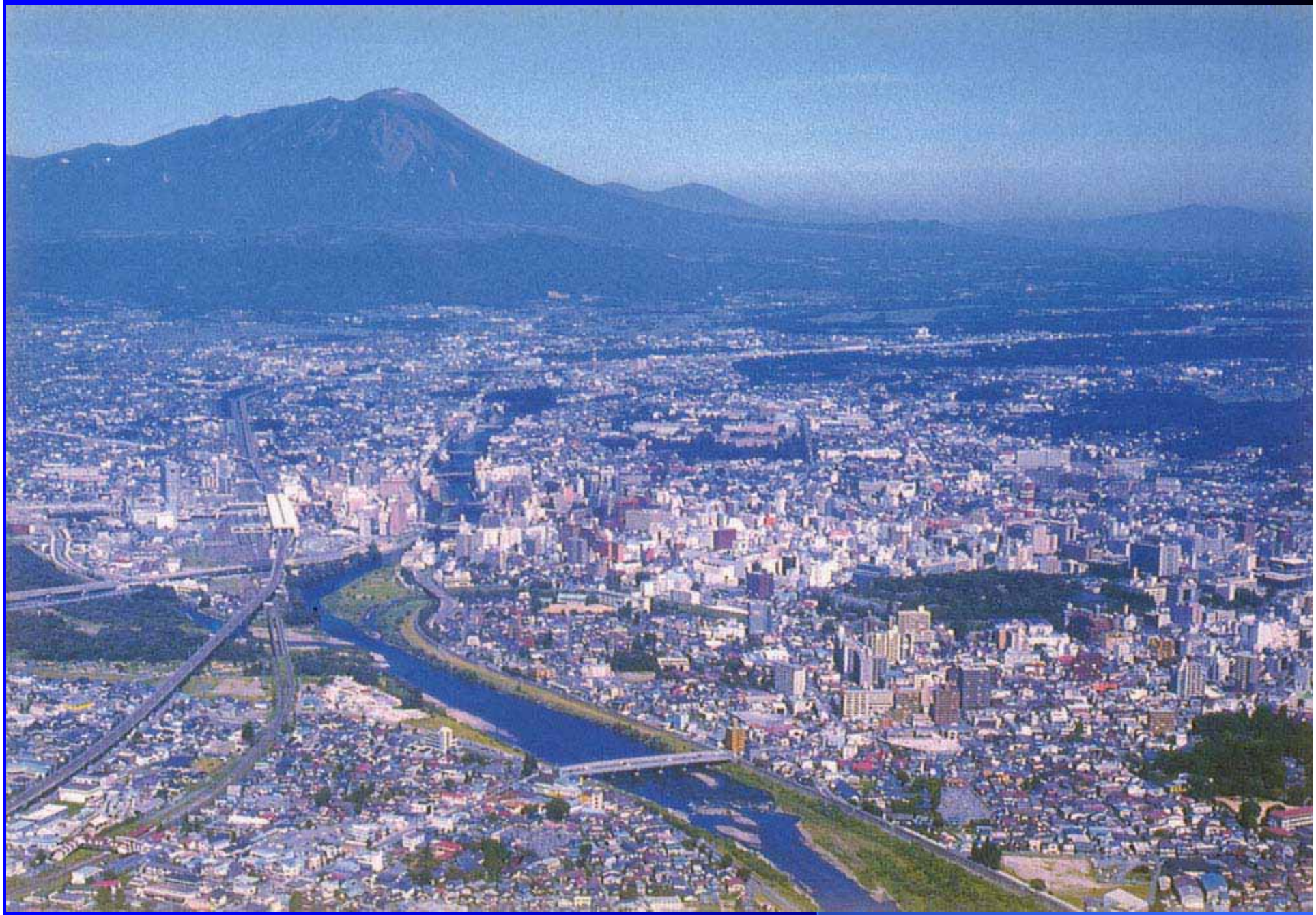
盛岡市の概要

人口：約30万人

面積：886．47km²

平成20年4月1日
：中核市に指定

盛岡広域生活圏の人口
：約49万人



盛岡市中心市街地活性化基本計画

触れる･楽しむ･感じる　元気な街盛岡

Ⅰ．盛岡市におけるまちづくりの考え方

１　盛岡市総合計画基本構想（平成16年12月及び平成18年3月議決）

＜策定の背景＞
・少子高齢化，人口減少社会の到来
・環境問題
・経済の低成長時代への転換
・厳しい財政状況

・地域の個性を生かしながら新しい魅力を生み出す「継承と創造」のまちづくり
・多様な交流により賑わいがつくられる「求心力」のあるまちづくり
・市民一人ひとりが個性と能力を伸ばすことができる「人が活きる」まちづくり
・市民みずからがまちづくりの主体となる「市民起点」のまちづくり
・地域の将来に責任を持ち問題をみずから解決できる「自律」のまちづくり

人々が集まり・人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡

Ⅰ．盛岡市におけるまちづくりの考え方

２　盛岡市地域再生計画

「まちなか観光」と「まちなか居住」による元気なまちの再生

３　盛岡市都市計画マスタープラン

中心地区地域別構想におけるまちづくりの基本方針

- ●人にやさしく元気なまちづくり
- ●みんなで気づき、守り育てる盛岡の景観
- ●さあ始めよう！身近なところのまちづくり

Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

人口

- 盛岡市の人口は減少しているが、中心市街地では増加傾向を示している。
- 中心市街地内の分譲マンションの増加が人口増を押し上げている。
- 世帯構成は、中心市街地において、単身・二人世帯が増加している。

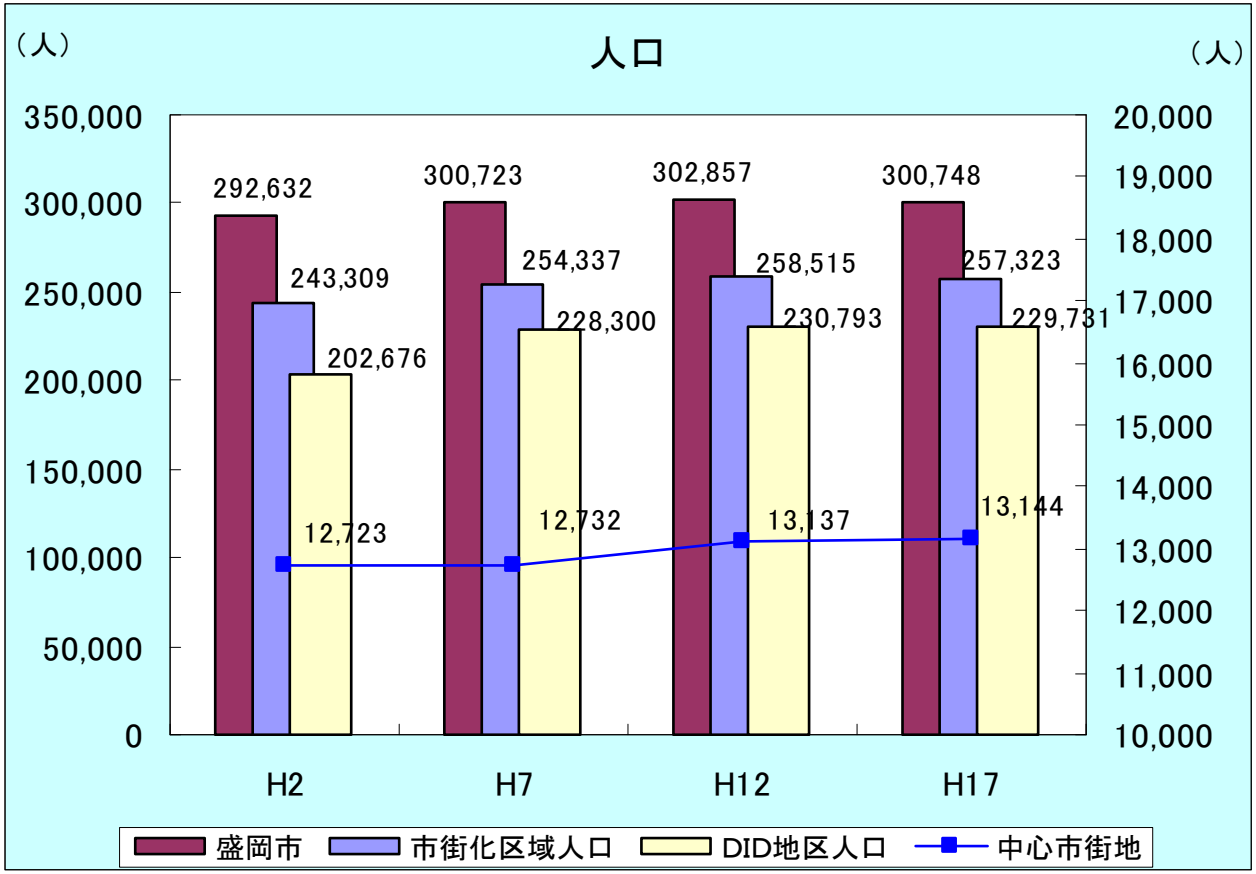
年齢別人口

- 盛岡市全域も中心市街地も、65歳以上の人口が増加している。
- 高齢化率（全体に占める老年人口の割合）は中心市街地は全市よりも緩やか。

Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

- 人口

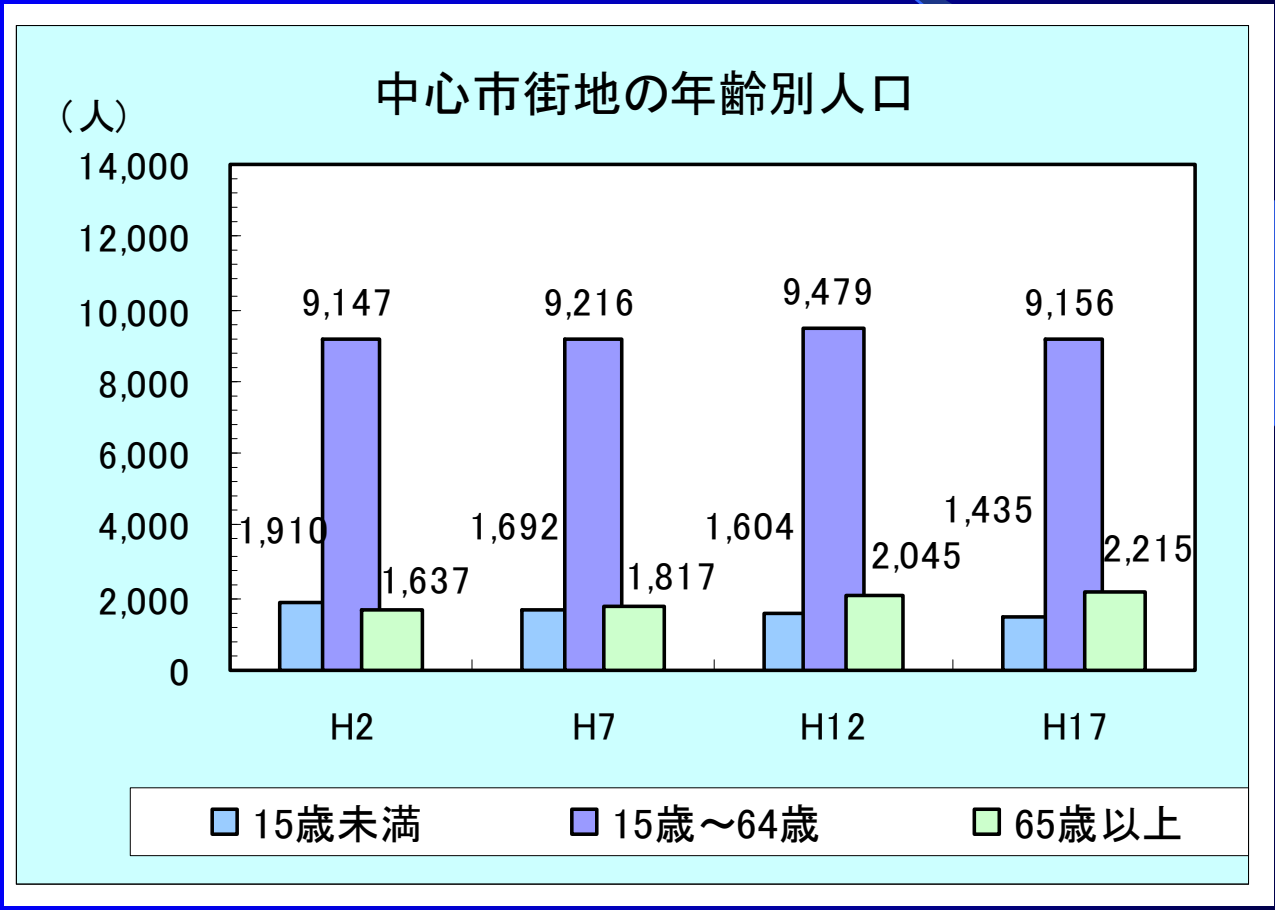
平成2年 / 12,723人 ⇒ 平成17年 / 13,144人（3.3%増）



Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

- 年齢別人口

65歳以上：平成2年 ／ 1,637人 ⇒ 平成17年 ／ 2,215人（35.3%増）



Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

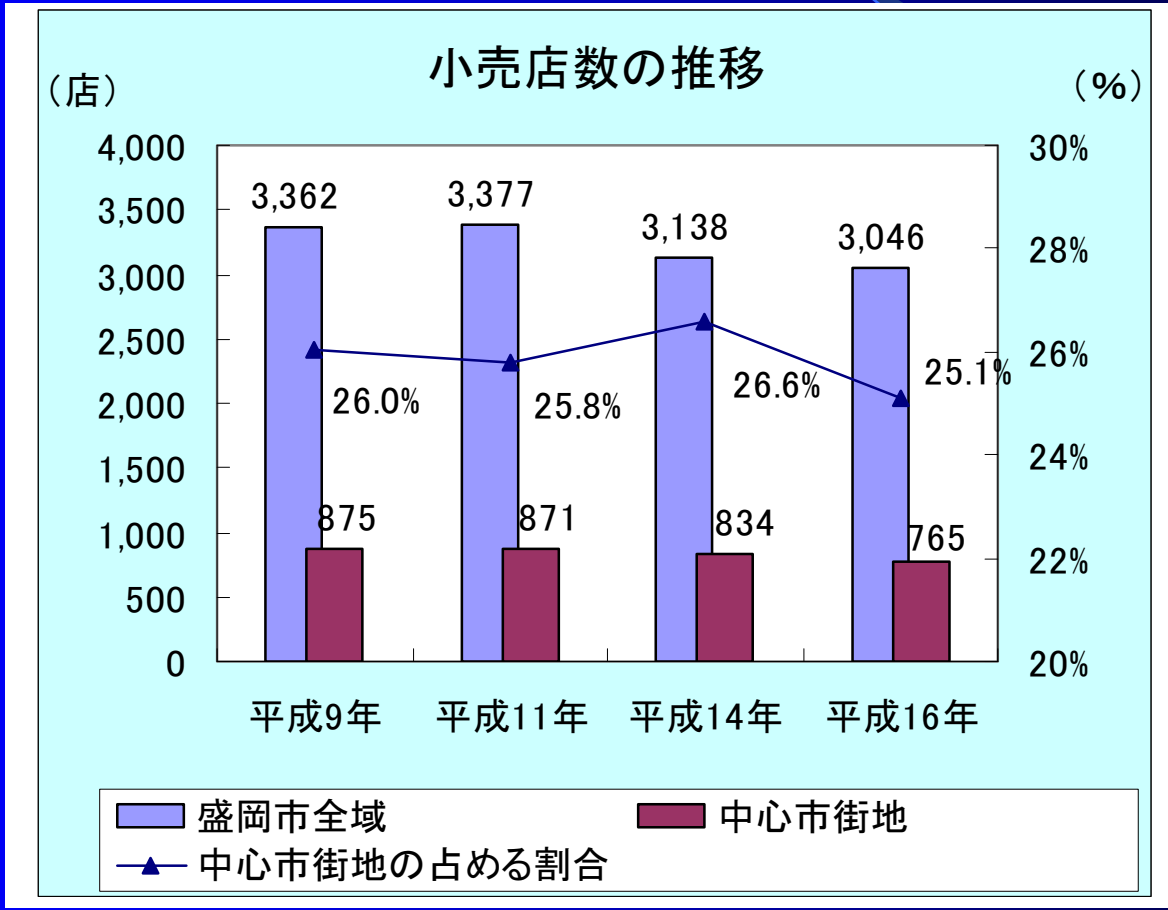
小売商業の状況

- 中心市街地の商店数は7年間で1割以上減少している。
- 中心市街地内小売店舗の従業員数に変動は無いが、全市に占める割合は低下。
- 中心市街地内小売店舗の年間販売額は7年間で24.8%減少した。
- 中心市街地小売店舗の店舗面積は減少しているが、全市では増加している。
- 市内居住者は市内での購買志向が強い。
- 大通の商圏ウエイトが低下している。
- 中心市街地の空き店舗は増加傾向にある。
- 中心市街地に新規出店する店舗の業態は、飲食系が目立つ。
- 事業所・従業者の減少幅は中心市街地のほうが大きい。

Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

- 小売商業の状況（小売店数）

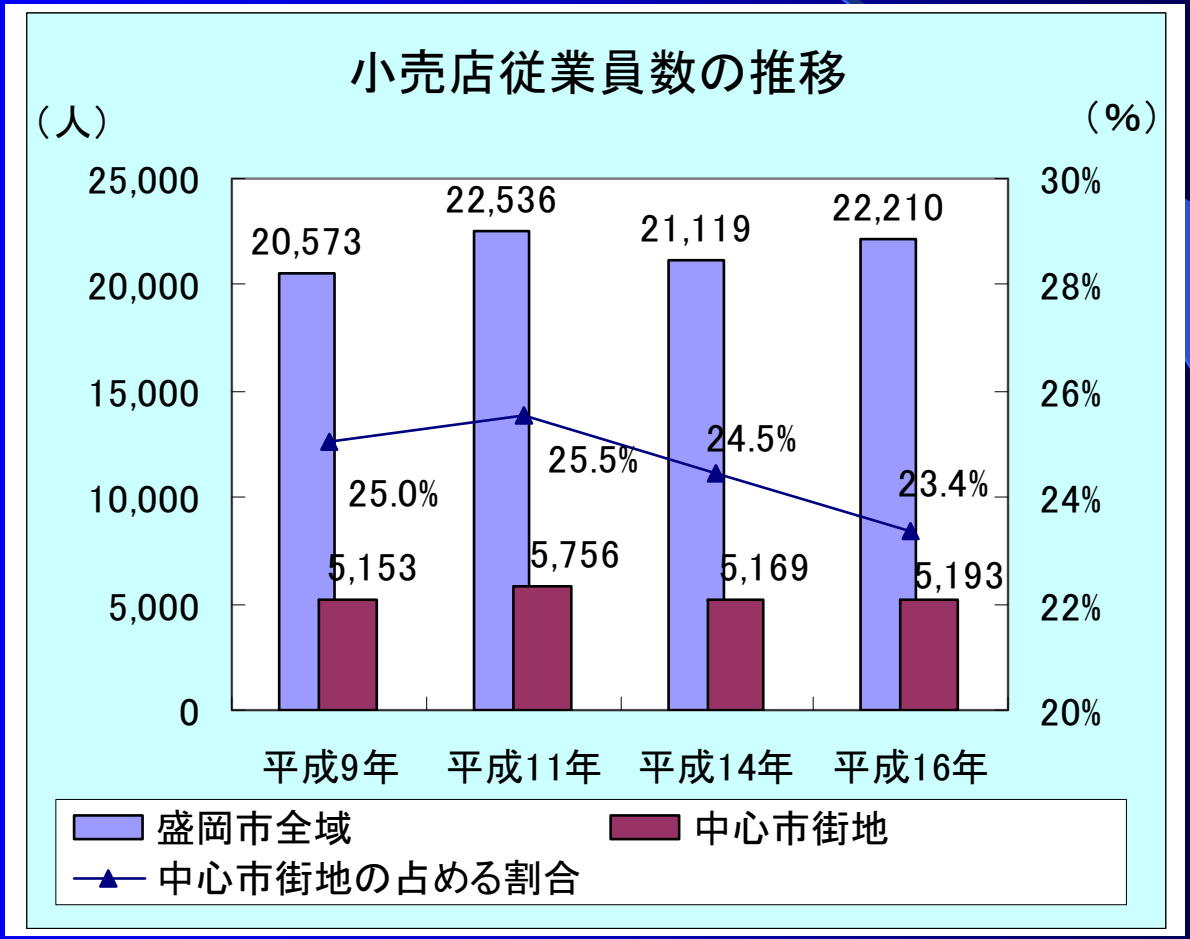
平成9年　／　875店 ⇒ 平成16年　／　765店（▲12.6%）



Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

- 小売商業の状況（従業員数）

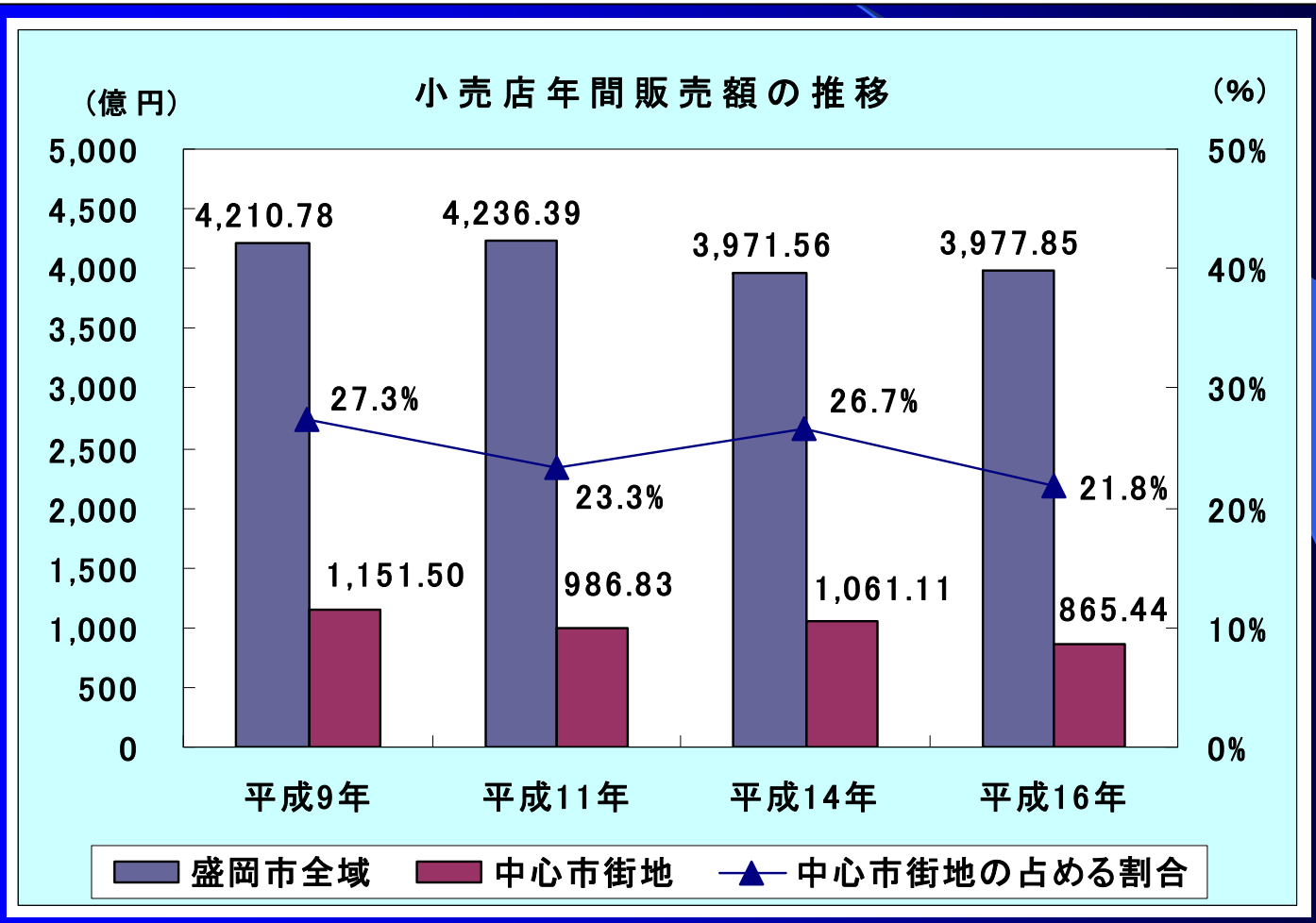
平成9年　／　5,163人 ⇒ 平成16年　／　5,193人（0.8%）



Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

- 小売商業の状況（年間販売額）

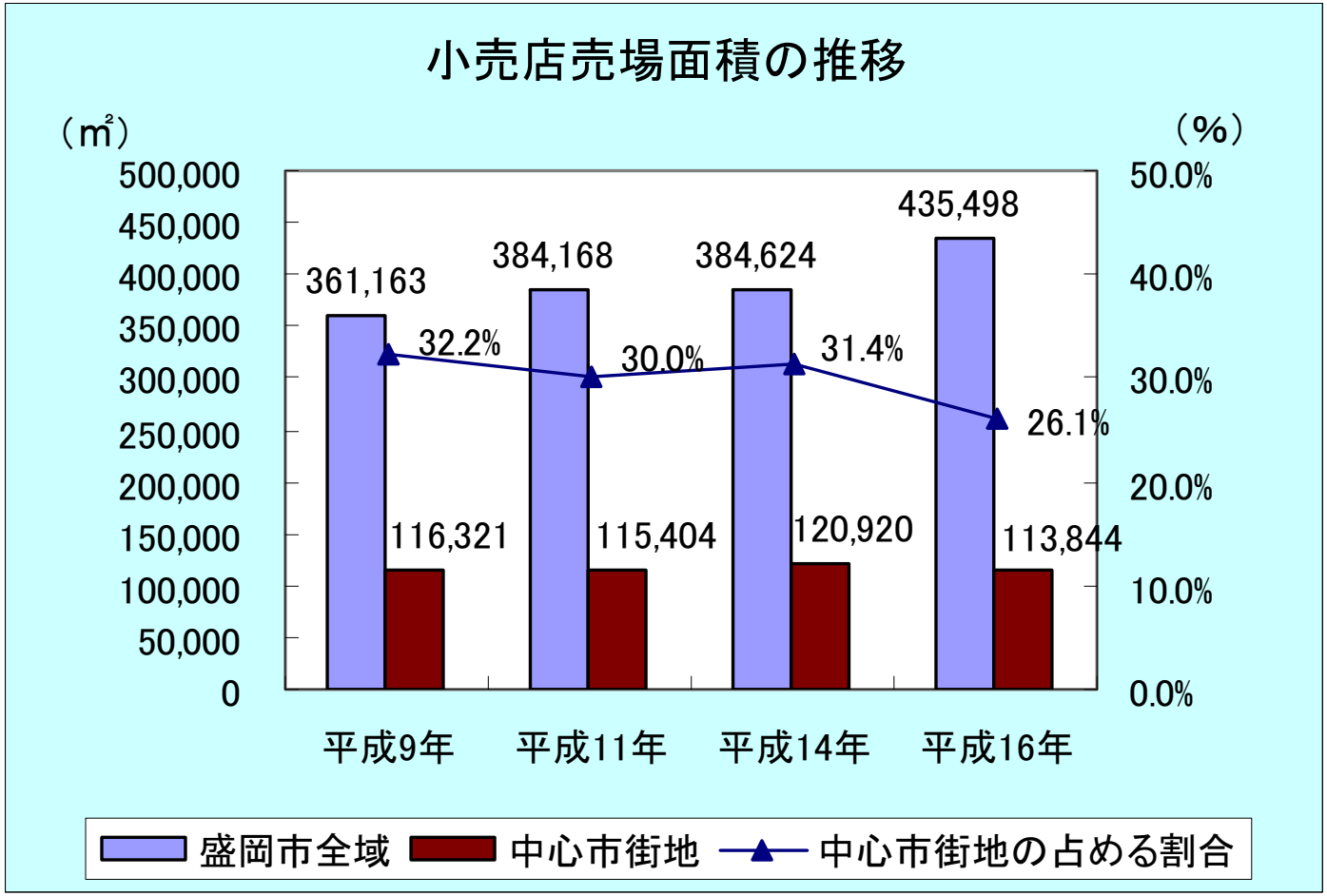
平成9年/1,151億 5,000万円 ⇒ 平成16年/865億4,400万円（▲24.8%）



Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

- 小売商業の状況（売場面積）

平成9年/116,321㎡ ⇒ 平成16年113,844㎡（▲2.1%）



Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

● 中心市街地の小売商業の空き店舗数

平成15年度 ／ 38ヶ所 ⇒ 平成18年度 ／ 58ヶ所（52.6%）

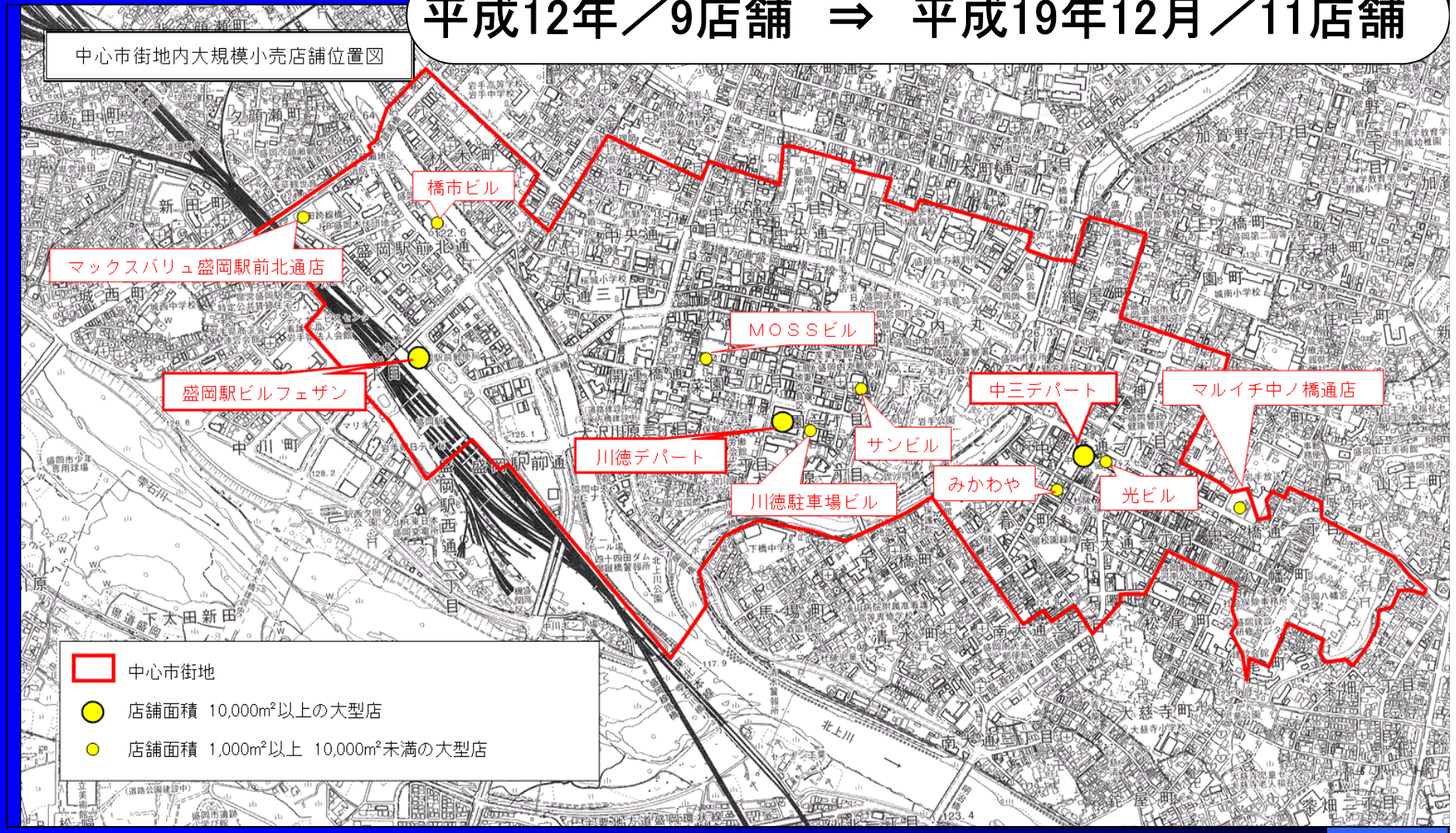
	中心市街地調査路線	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
1	盛岡駅前通・同北通	4	4	14	17
2	開運橋通	3	1	3	3
3	材木町	4	3	4	4
4	中央通	6	5	12	14
5	菜園通	0	2	1	2
6	大通・東大通・映画館通	5	12	8	7
7	内丸大手先	2	2	1	5
8	肴町・中の橋通	3	3	1	1
9	紺屋町	4	3	4	4
10	南大通1	7	6	1	1
	計	38	41	49	58

資料：盛岡市まちづくり㈱・盛岡市商工課

Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

● 大規模小売店舗の状況（中心市街地内）

平成12年／9店舗　⇒　平成19年12月／11店舗



Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

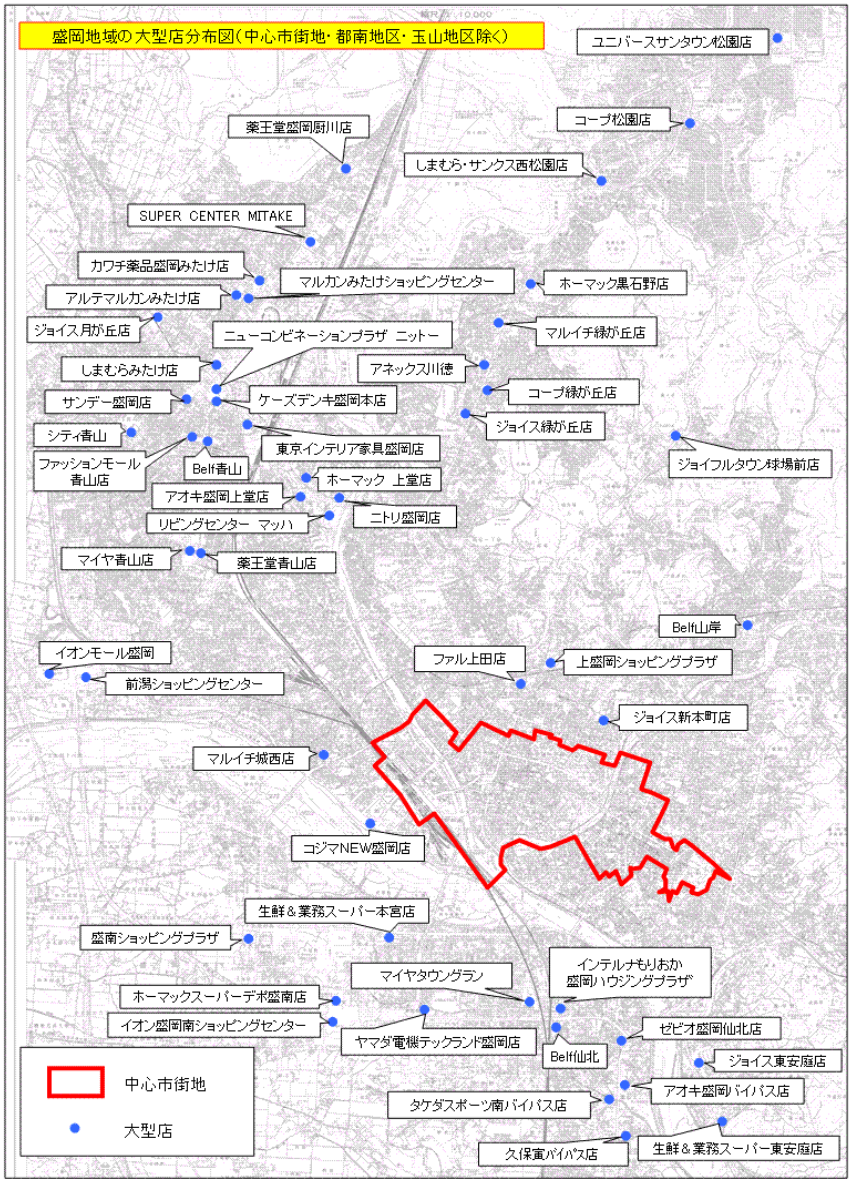
- 大規模小売店舗の状況
  （中心市街地以外）

平成12年／33店舗　⇒

平成19年12月／59店舗（78.8%増）

平均床面積（～H11）／3,041㎡　⇒

（H12～）／6,181㎡（3,140㎡増）



Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

観光客の状況

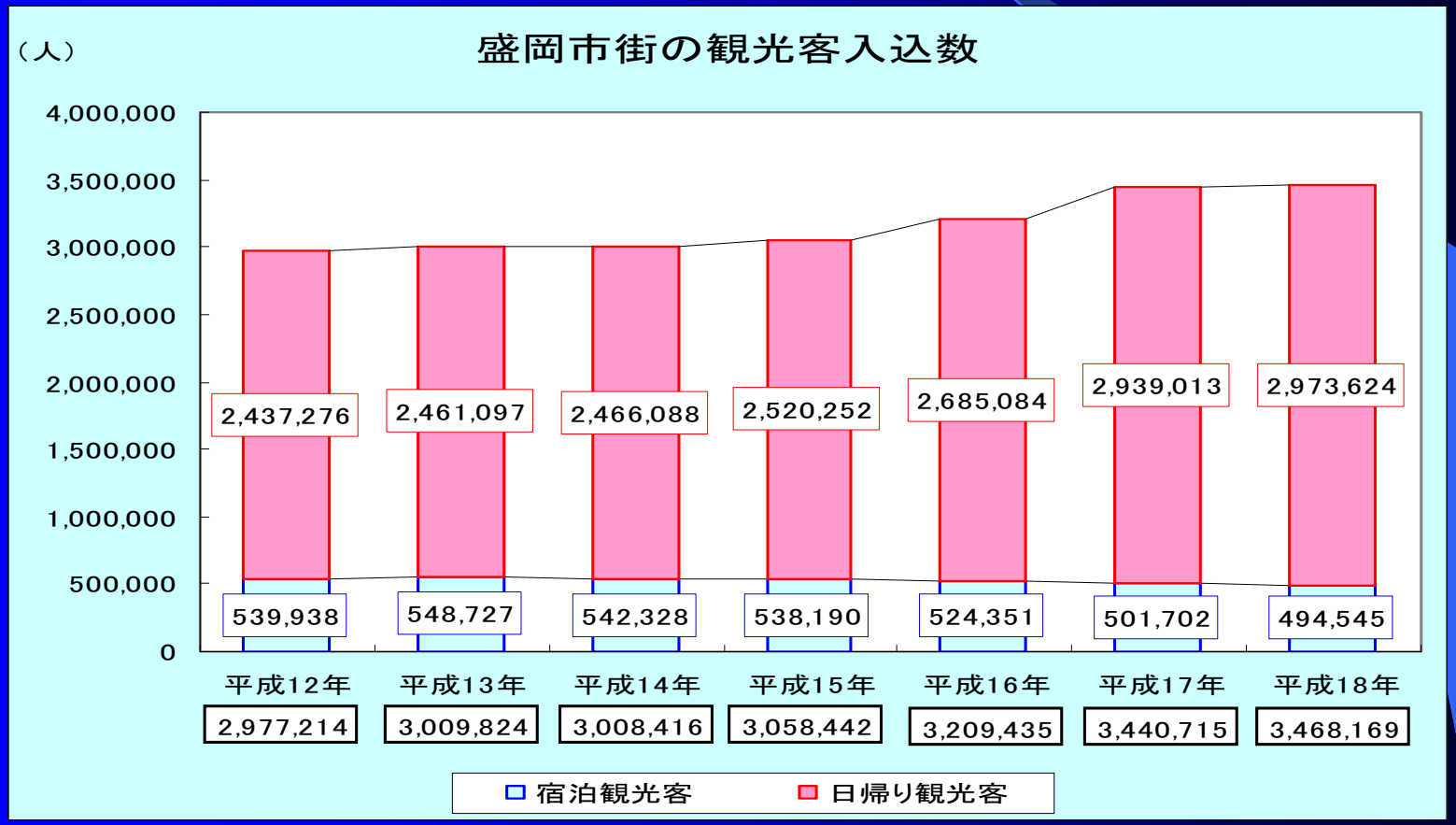
- 高速交通網が整備され、滞在型から通過型への観光客の移行がおきている。
- ドラマ放映や大型キャンペーン効果は一時的に好況を呈する。
- 通過型の観光客でも満足できるような、焦点を絞った観光資源の提示が必要。

Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

● 観光客の状況（盛岡市街の観光客入込数）

入込客全体：平成12年/2,977,214人 ⇒ 平成18年/ 3,468,169人（＋490,955人）

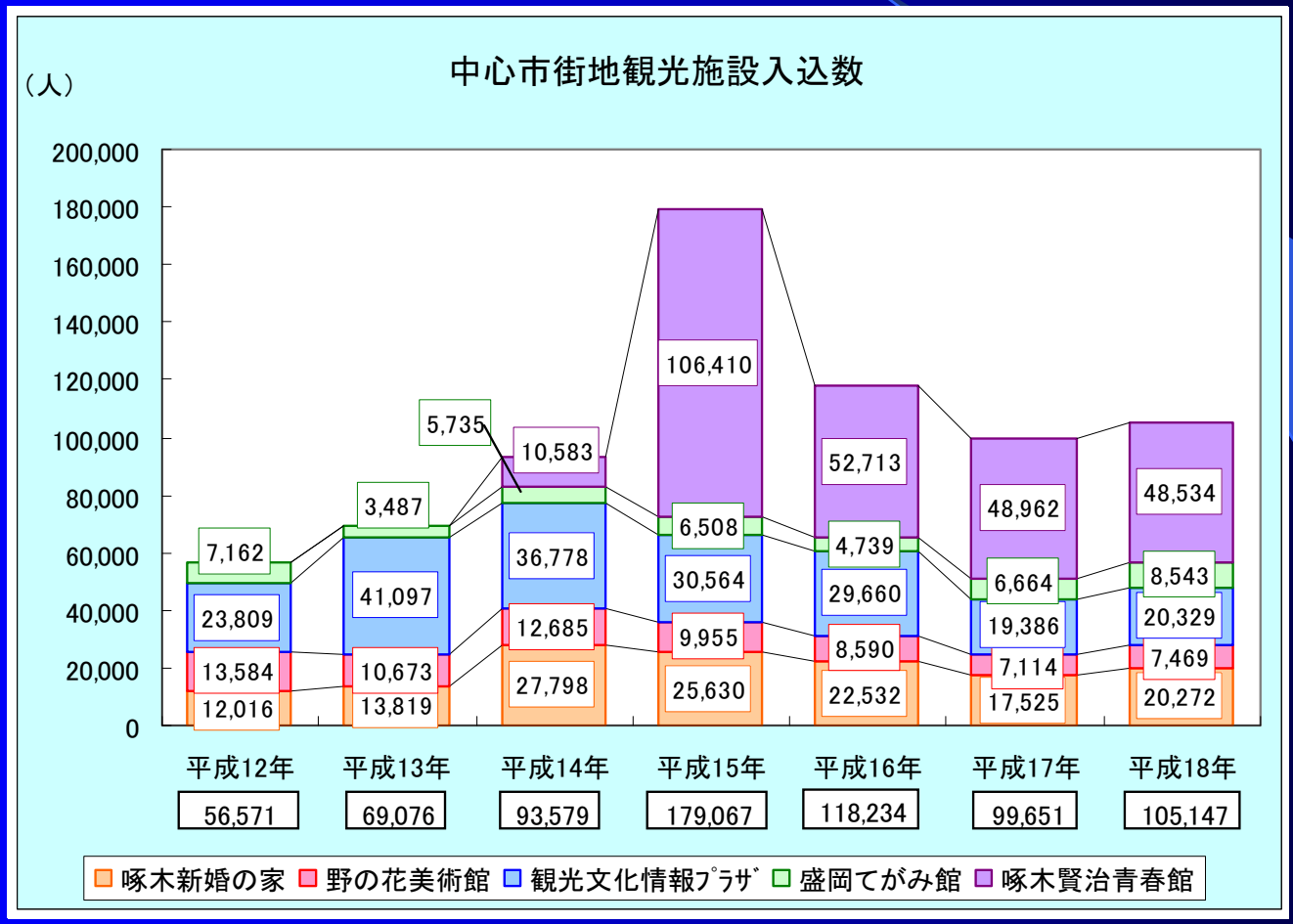
うち宿泊客 ：平成12年/　539,938人 ⇒ 平成18年/　494,545人（▲45,393人）



Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

● 観光客の状況（中心市街地観光施設入込数）

平成16年　／　118,234人 ⇒ 平成18年　／　105,147人（▲13,087人）

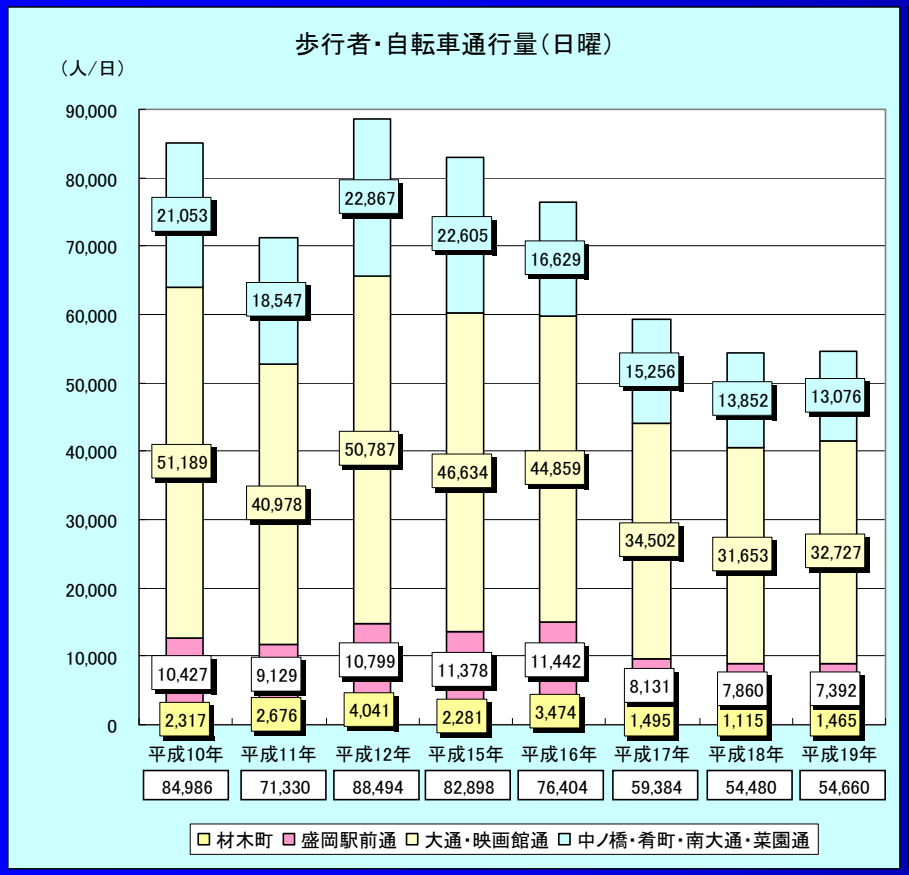


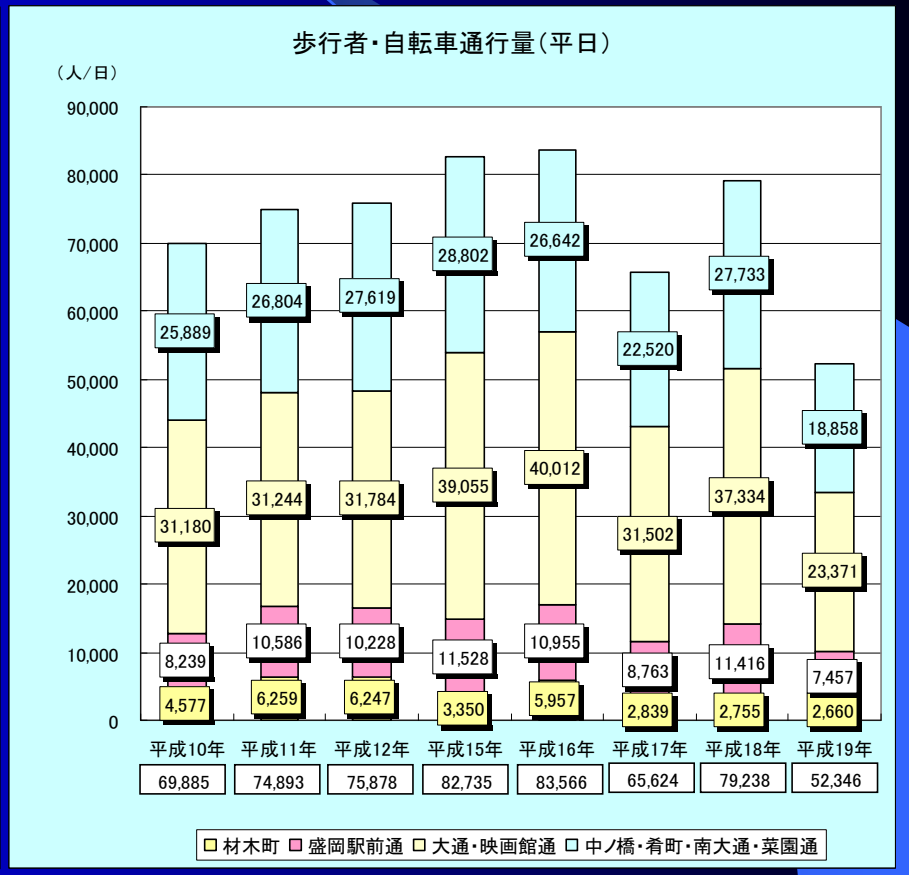
Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

交通状況（歩行者自転車通行量）

日曜：平成15年/82,898人 ⇒ 平成19年/54,660人（▲28,238人）

平日：平成15年/82,735人 ⇒ 平成19年/52,346人（▲30,389人）

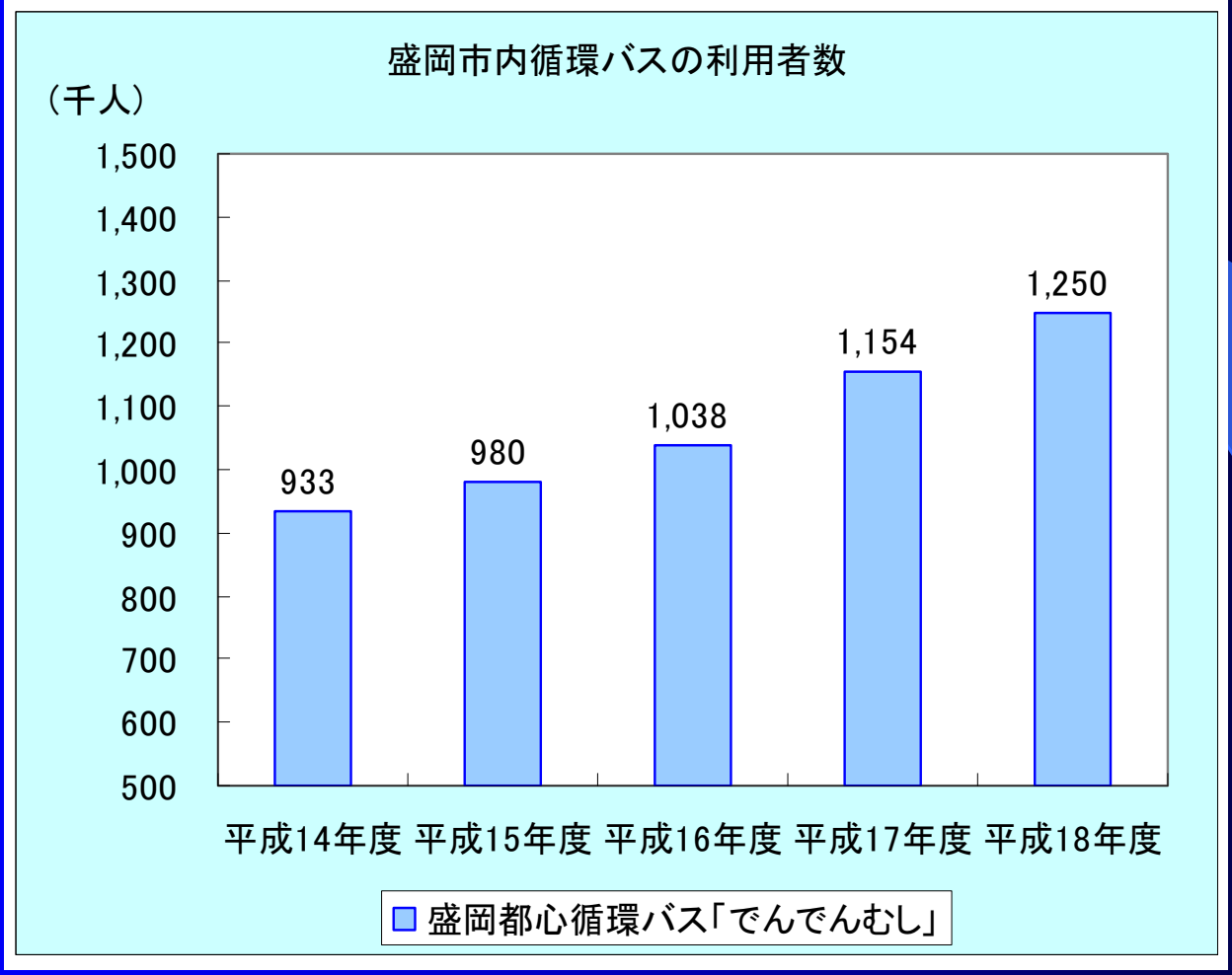




Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

● 交通状況（都心循環バス利用者数）

平成14年度／ 93万3000人 ⇒ 平成18年度／ 125万人（＋34.0%）



Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

都市機能

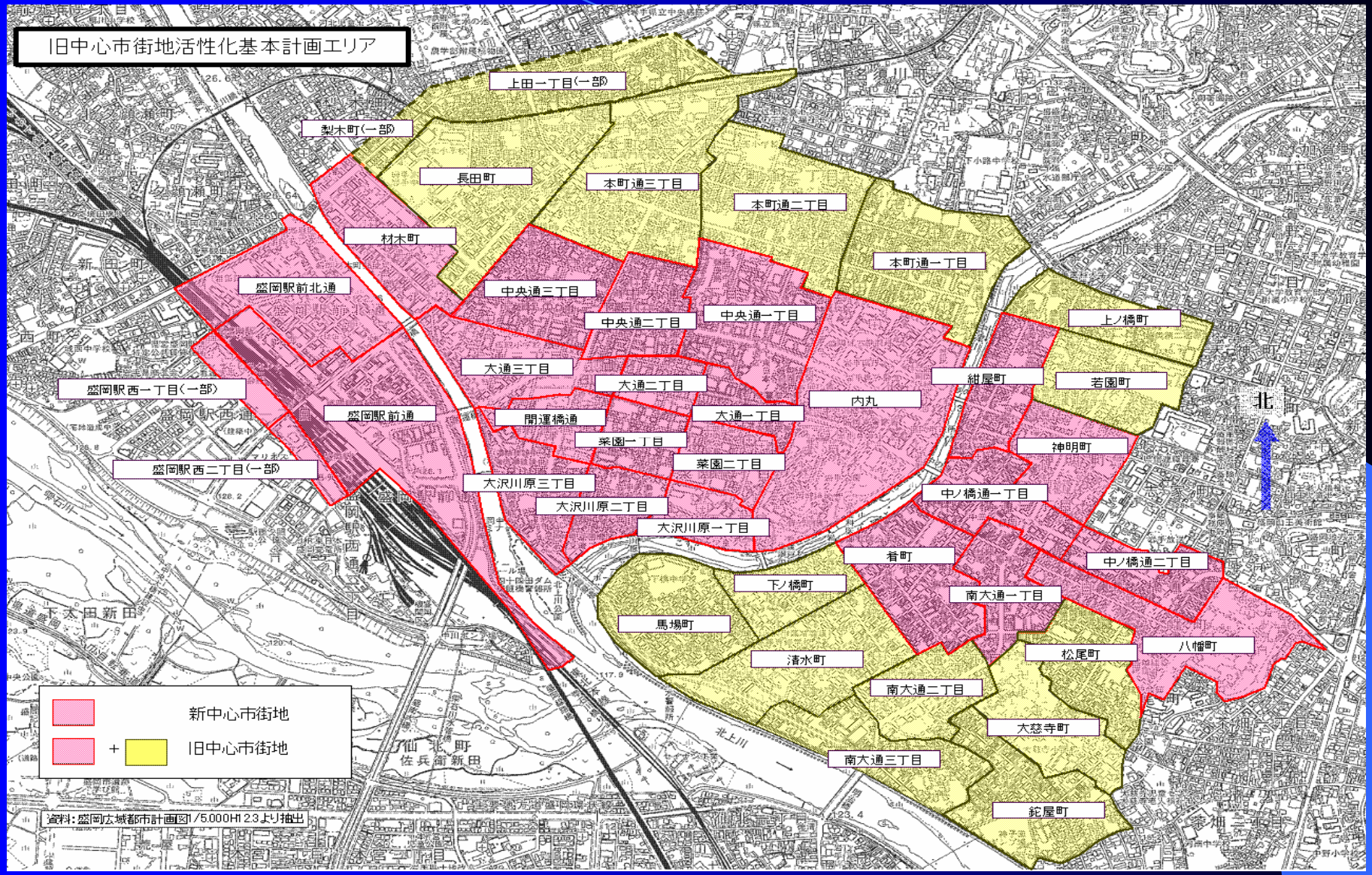
- 官公庁は中心市街地に集中している。
- 教育・文化施設や金融機関、報道機関も集積している。
- 歴史と文化を紹介する博物館設置の必要がある。
- 地価は下落傾向。
- 中心市街地内の新たな建築需要はマンション・ホテル中心。
- 増加したマンションの居住者ニーズに対応した店舗整備。
- 中心市街地及びその周辺に市内の分譲マンションの大部分が集中。
- マンション居住者の年齢構成は40～60代が多い。
- 単身・二人世帯が多い。
- 次世代に受け継ぐまちづくりのため、景観保全に配慮する。
- 中心市街地内道路は狭隘な道路や一方通行が多い。
- 公園整備と下水道整備は進んでいる。

Ⅱ．盛岡市及び中心市街地の現状分析

市民アンケート

- 現在の中心市街地の魅力を感じていると応えた市民は、17%に留まる。
- 魅力を感じていないと回答したのは20･30･40代が多い。
- 市民は、中心市街地が自然豊かで歴史的建造物の多い場所であると感じている。
- オフィスビルの集積地であるイメージがある。
- 市民は中心市街地の機能に不満を持っている。
- 中心市街地の将来像は、歩いて楽しめるまちづくりが求められている。
- 高齢者や障害者が安心して歩けるまち、安全に歩ける治安のいいまちづくりへの要望が強い。
- 活性化に不足しているものには、魅力ある店舗や商店街が挙げられている。
- 気軽に訪れやすい空間の提供が、各店舗や商店街に必要と考えられる。
- 中心市街地の機能強化には自家用車での来店が必要と考えている。
- 商店街に休息場所が必要と考えている。
- 空き店舗の活用が必要と考えている。

Ⅲ. 旧中心市街地活性化基本計画の評価



Ⅲ. 旧中心市街地活性化基本計画の評価

● 旧計画の評価

・ 旧計画が事業の無いエリアを含んでいた。
・ 実現性の低い事業が盛り込まれていた。
・ 活性化を図る指標として具体的数値目標が設定されていなかった。
・ 事業効果について検証及びそれに基づく対応策が実施されていなかった。
・ さらには中心市街地を活性化するにあたって、多くが行政主導であり、市民を巻き込んだ、市民と協働の推進が図られにくかった。

新たに作成する中心市街地活性化基本計画においては、
中心市街地を本市の中心区域として捉え、
都市基盤整備や商業・観光振興について、
市民の十分な理解と協働を得ながら、
確実に遂行できる事業を盛り込むことが必要と考えられる。

Ⅳ. 中心市街地の課題

- 課題のまとめ

1. 商店街や個店の魅力向上
2. 街の賑わいの連続性
3. 市民や来街者の吸引力向上
4. 安全で円滑な交通確保
5. 便利で利用しやすい公共交通の利用促進
6. 自然や歴史的魅力のアピール

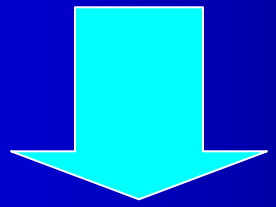
Ⅴ．中心市街地活性化の基本方針

触れる･感じる･楽しむ
元気なまち『もりおか』

Ⅴ．中心市街地活性化の基本方針

- 盛岡市における中心市街地活性化の意義

1. 課題の解消
2. 機能の増進
3. 優位点の充実･発展



交流人口の増加を図り、居住人口も含め、その回遊性を高めていく

以上を踏まえ、3つの基本方針を立て、中心市街地の活性化に取り組みます。

Ⅴ．中心市街地活性化の基本方針

基本方針１

商店街の賑わいや魅力を楽しむ中心市街地の形成

- 低利用地の解消により通りの賑わいの連続性を確保する。
- 各個店や商店街が、市民や来街者・消費者の視点に立ち実施するイベントや大型店と商店街の共同売り出しなど、集客力強化に寄与する事業について積極的に支援する。
- 集客力のある店舗作りの支援、及びイベント等各種の情報提供機会の強化など、中心市街地を盛り上げる人と中心市街地に集う人双方に目を向けた施策を行う。

Ⅴ．中心市街地活性化の基本方針

基本方針2

暮らしや便利さを感じる中心市街地の形成

- 県内外や盛岡広域・市郊外などに住む多くの人々が、公共交通等を利用して、気軽にアクセスできるようなまちづくりを行なう。
- 人々が、いつでも、歩いたり、自転車や公共交通機関を利用し、買い物や観光などを気軽に楽しめるまちづくりを目指す。
- 中心市街地における都市型集合住宅の増加傾向に対応し、居住者が暮らしやすく、生活実感を満足させるような活き活きとしたまちづくりを目指す。

Ⅴ．中心市街地活性化の基本方針

基本方針３

盛岡の歴史や文化に触れる中心市街地の形成

- 歴史・文化を紹介する機能を整備する。
- 観光イベント、商店街等を使った市民によるイベントを支援する。
- ハンギングバスケット設置など、盛岡らしい独自のまちづくり活動を積極的に支援する。
- 中心市街地全体の魅力向上を図り、ひいては盛岡市全体の魅力向上に繋げる。

Ⅴ．中心市街地活性化の基本方針

基本方針に基づく2つの目標

3つの基本方針に基づき2つの目標を掲げ、
今後5年間で64の事業を実施する。

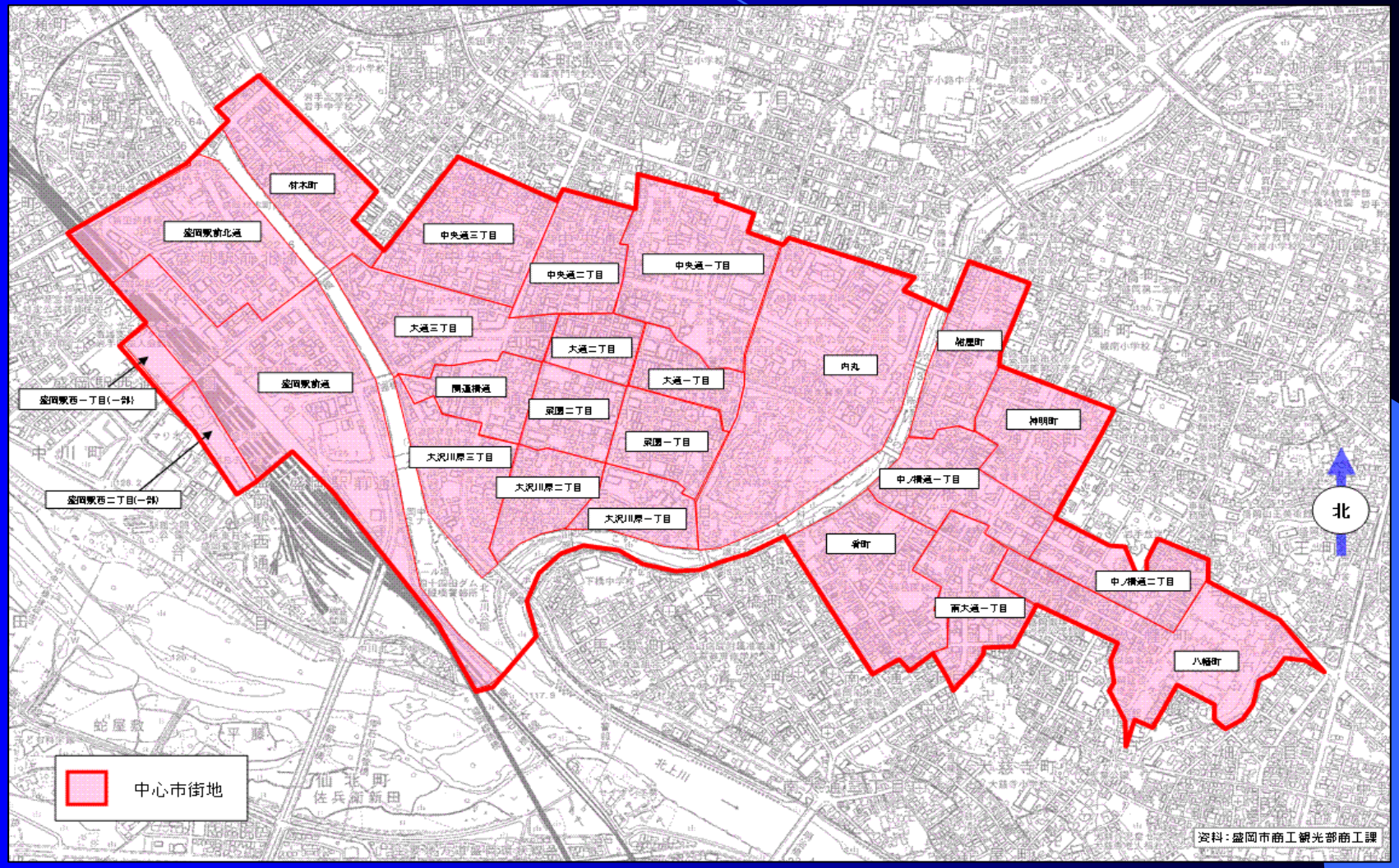
2つの目標

① 賑わいあふれる中心市街地

② 訪れたくなる中心市街地

Ⅵ. 中心市街地の位置及び区域

３　具体的な地区及び面積　　396ha→218ha



Ⅶ. 中心市街地活性化の目標

１　中心市街地活性化の目標設定の考え方

目標１　賑わいあふれる中心市街地

目標２　訪れたくなる中心市街地

目標1	来街者が街に常に新鮮さを感じ、街の回遊を楽しめる中心市街地の形成を目指す。	商店街・個店が魅力的になることや、低利用地における商業施設等の整備、空き店舗対策、企業誘致、公共交通の利用促進などにより実施する。
目標2	多くの人が盛岡市の中心市街地について関心を持ち、交流人口が増加する中心市街地を目指す。	全国画一的なものでなく、盛岡ならではのものを色々な手法により情報提供する。

Ⅶ. 中心市街地活性化の目標

２　数値目標

2つの目標の達成状況について、下記の3つの項目の数値により検証する。

目標	現況数値	目標数値	増減率
中心市街地の小売年間販売額	816億5900万円（H19）	869億3900万円（H24）	約6.5%増加
中心市街地歩行者･自転車通行量	50,260人／日（H19）	51,000人／日（H25）	約1.5%増加
盛岡市街の観光客入込数	347万人（H18）	372万人（H24）	約7.2%増加

３　計画期間

本計画期間は平成20年7月から平成25年3月までとする

Ⅷ. 中心市街地活性化のための事業

1）土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業

再開発事業例（肴町3番地）

事業前

完成イメージ

Ⅷ. 中心市街地活性化のための事業

1）土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業

盛岡駅東西自由通路
（完成イメージ）

都市計画道路の整備例

Ⅷ. 中心市街地活性化のための事業

２）都市福利施設を整備する事業

現行の旧県立図書館跡
（歴史文化施設として活用予定）

盛岡城跡の保存

Ⅷ. 中心市街地活性化のための事業

２）都市福利施設を整備する事業

つどいの広場
kokko（外観）

盛岡市つどいの広場は親子で自由に遊べる盛岡市の施設です。
特定非営利活動法人いわて子育てネットが運営を行っています。

Ⅷ. 中心市街地活性化のための事業

３）公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他の住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境の向上のための事業等

現行の盛岡バスセンター（バスセンター、商業、住宅等の複合施設として整備予定）

Ⅷ. 中心市街地活性化のための事業

４）中小小売商業高度化事業、特定商業施設整備事業その他の商業の活性化のための事業及び措置

■ 商店街のイベント例

盛岡駅東口商店街イベント

材木町よ市

肴町商店街イベント

Ⅷ. 中心市街地活性化のための事業

４）中小小売商業高度化事業、特定商業施設整備事業 その他の商業の活性化のための事業及び措置

■ 商店街のイベント例

大通商店街でのイベント

Ⅷ. 中心市街地活性化のための事業

４）中小小売商業高度化事業、特定商業施設整備事業その他の商業の活性化のための事業及び措置

■ 空き店舗の活用例

Ⅷ. 中心市街地活性化のための事業

４）中小小売商業高度化事業、特定商業施設整備事業
その他の商業の活性化のための事業及び措置

盛岡城跡公園のライトアップ・イベント活用

フラワーバスケット事業

Ⅷ. 中心市街地活性化のための事業

５） １から４までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

■バス利用の促進等
写真は、盛岡都心循環バス
「でんでんむし」

■お城を中心としたまちづくり

盛岡市の交通計画について

盛岡市街路交通調査　平成18年度から着手

↓

もりおか交通戦略　平成19.20年度で策定

〈総合交通計画を踏まえた具体的な戦略づくり〉

↓

基本方針

①公共交通・自転車利用促進策

②道路網整備

戦略メニュー

歩いて楽しむ中心市街地形成戦略

公共交通・自転車による中心市街地アクセス性向上戦略

盛岡市オムニバスタウン計画の施策体系

運行体系の改善
- 基幹バス
- 支線バス
- 都心循環バス

走行環境の改善
- バス専用《優先》レーン
- PTPS《公共車両優先システム》

利用条件の改善
- ミニバスターミナル
- 乗り継ぎ割引料金

ゾーンバスシステム

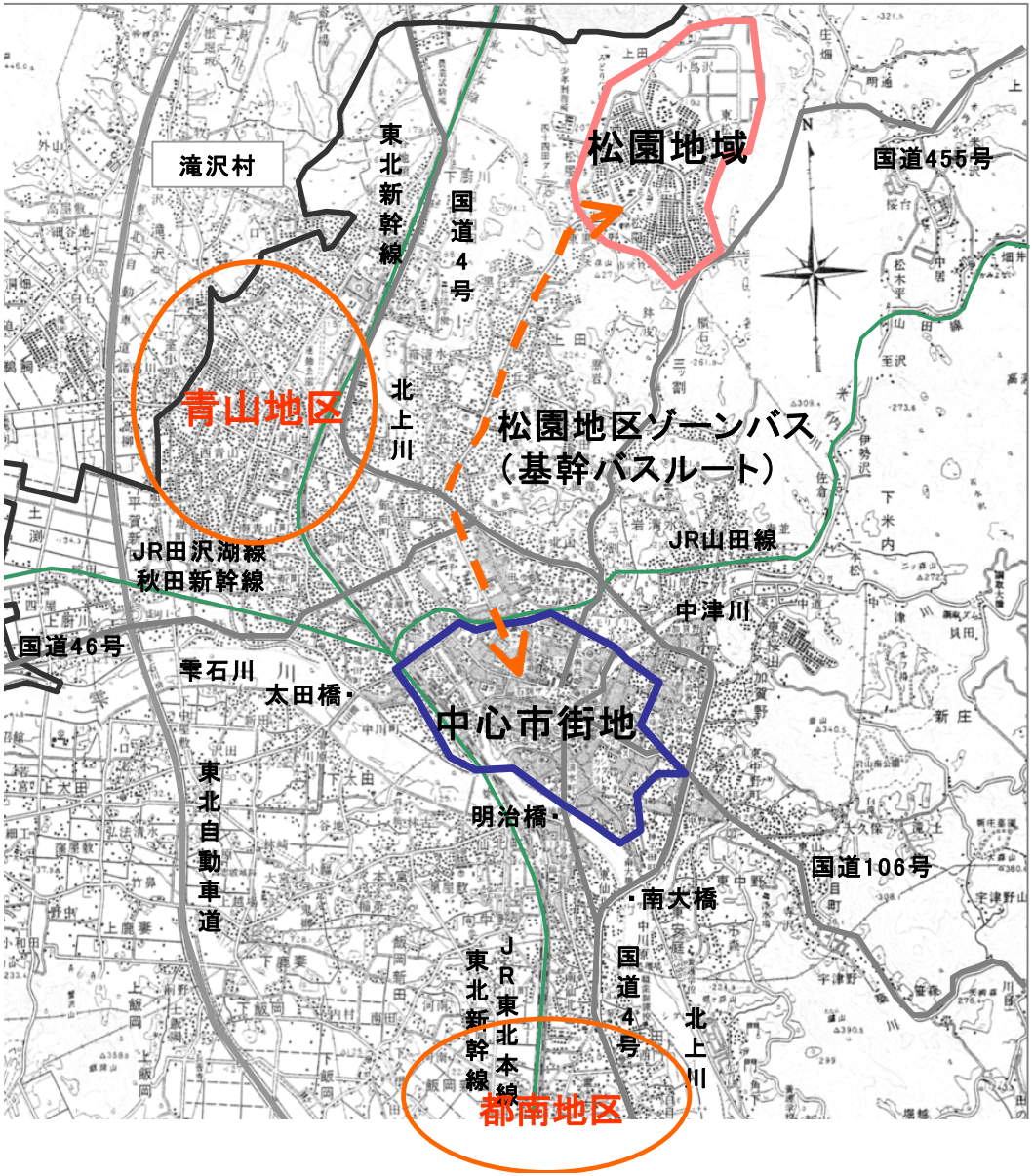
松園・都南・青山

支援施策
- ハイグレードバス停の設置
- バスロケーションシステム
- パークアンドバスライド
- サイクルアンドバスライド
- レールアンドバスライド
- 低床バス、小型バスの導入
- その他の施策

（1）ゾーンバスシステム

駐車場
駐輪場
支線バス
郊外部
バスターミナル
駅
都心循環バス
（でんでんむし）
盛岡駅
都心部
バスセンター
バス専用レーン・PTPS
基幹バス
●急行バス
●各停留所停車バス
●運中地域バス
松園バスターミナル
バスターミナル

利用者が増加した松園地区



松園地区（住宅団地）

夜間人口　約17，500人

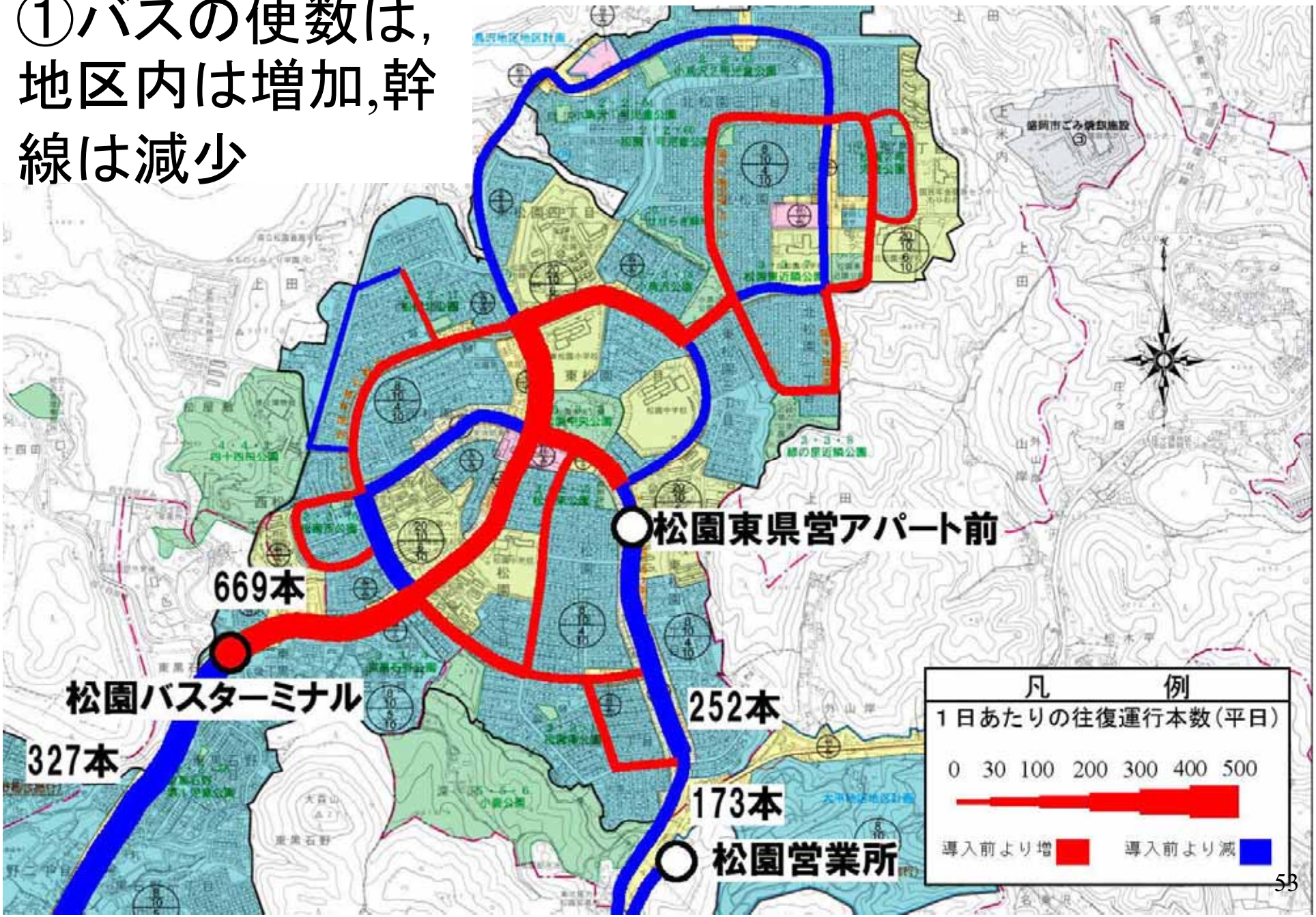
面積　約　315　ha

中心市街地から約6km

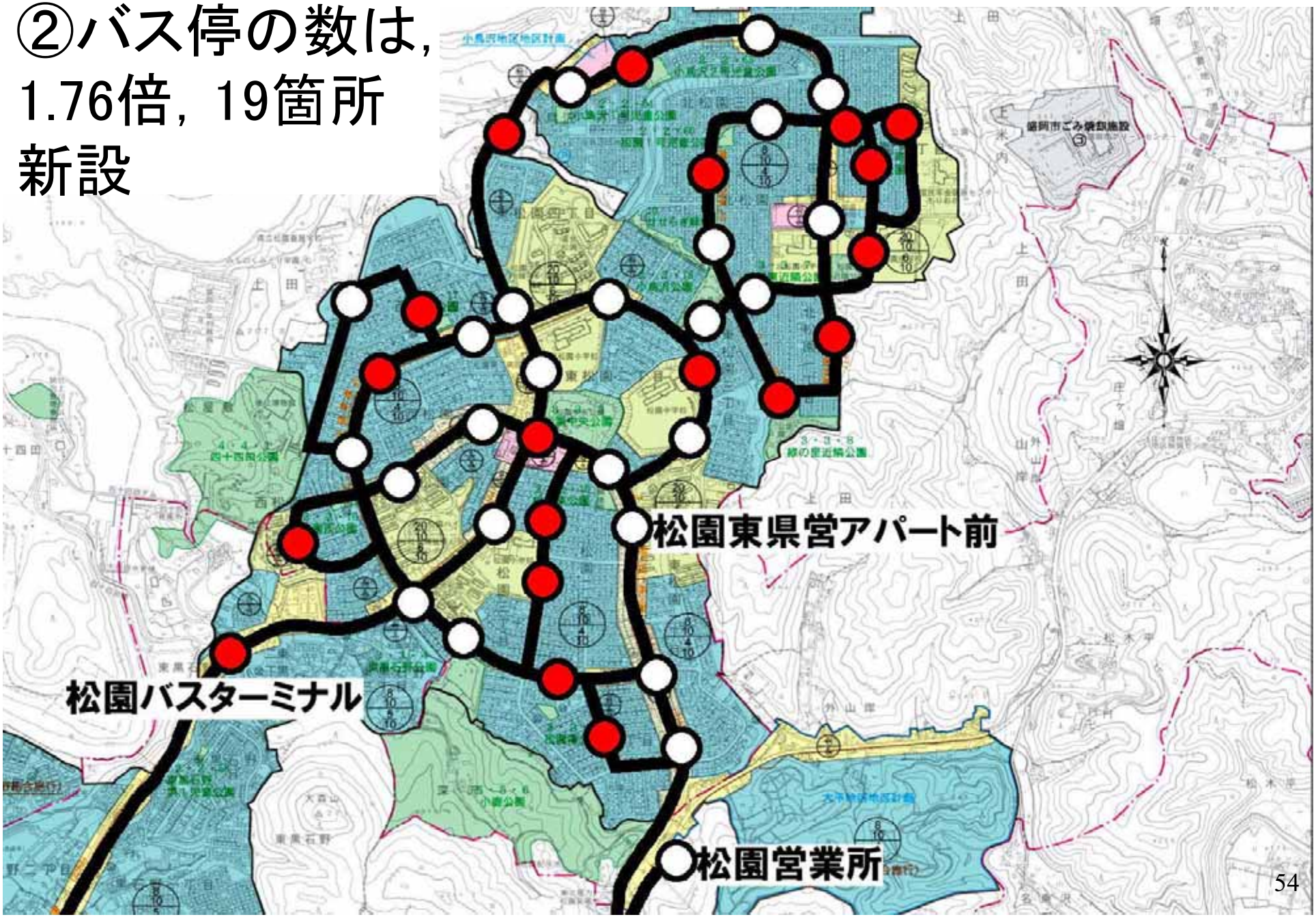
取り組んだ施策

- ゾーンバスシステム
- バス専用レーン
- PTPS
- ハイグレードバス停の整備
- バスロケーションシステム
- ミニバスターミナル

①バスの便数は，地区内は増加,幹線は減少



②バス停の数は，
1.76倍，19箇所
新設

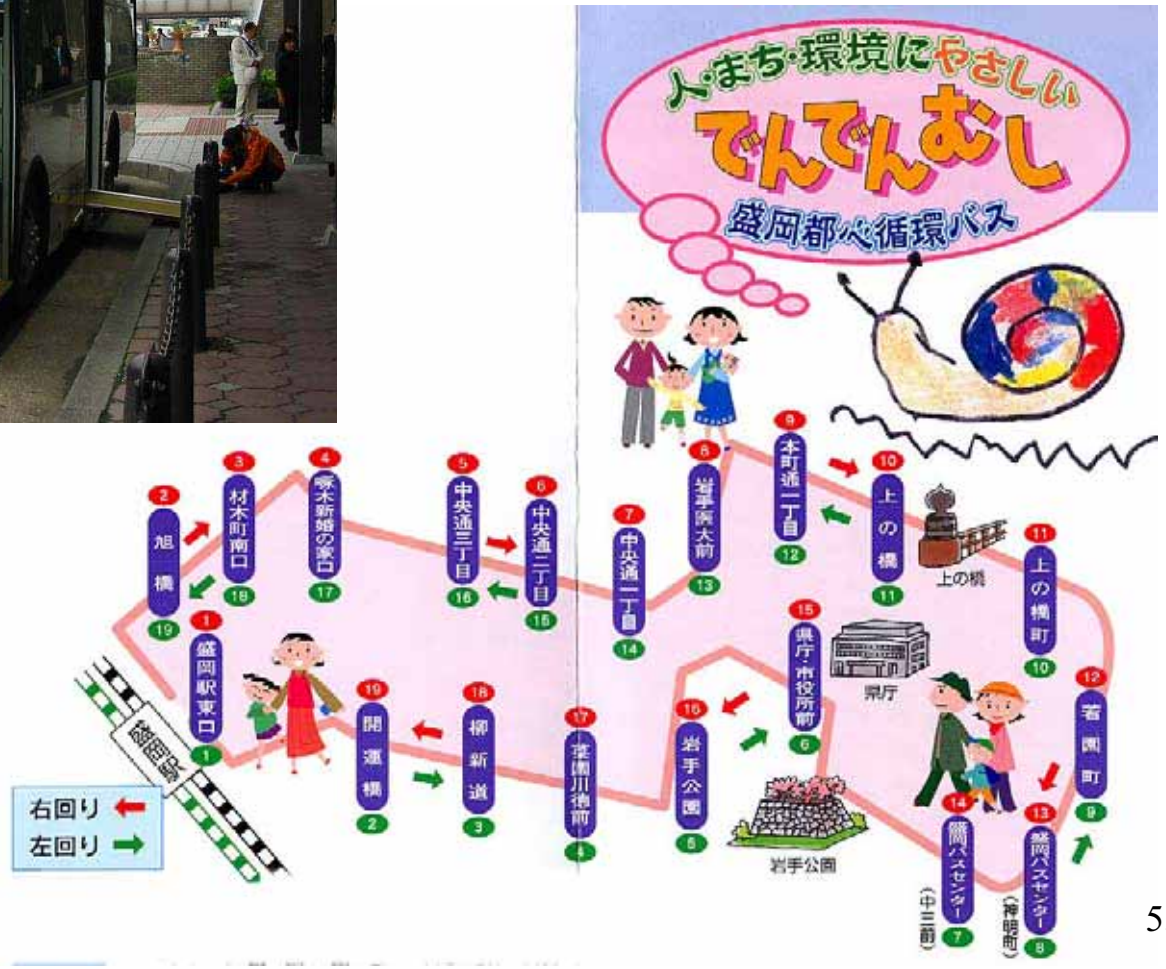


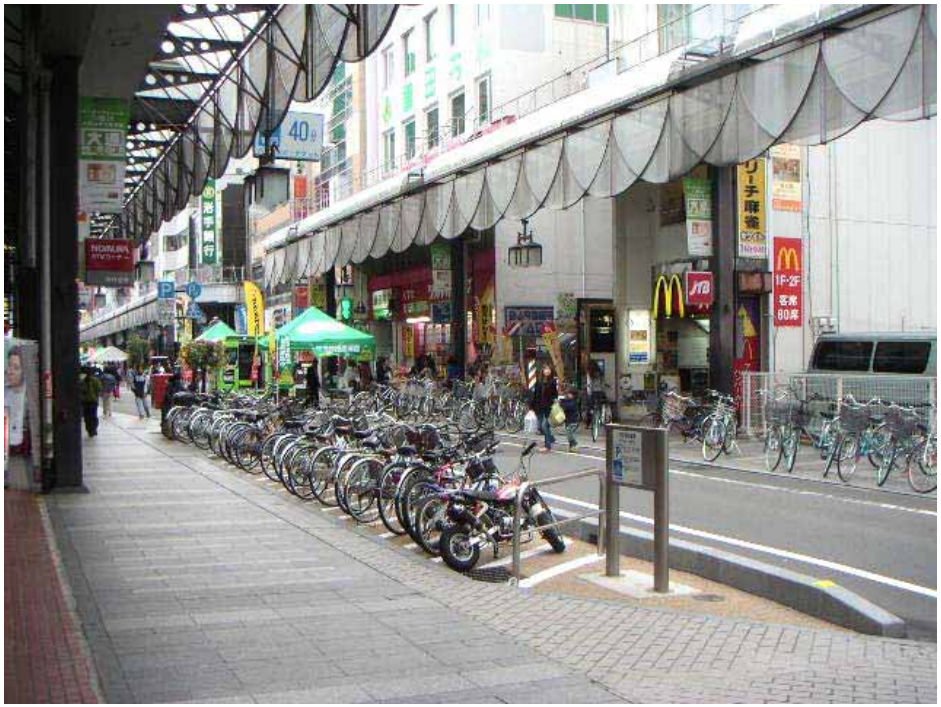
（2）都心循環バス『でんでんむし』

一周　5．7　km　35分

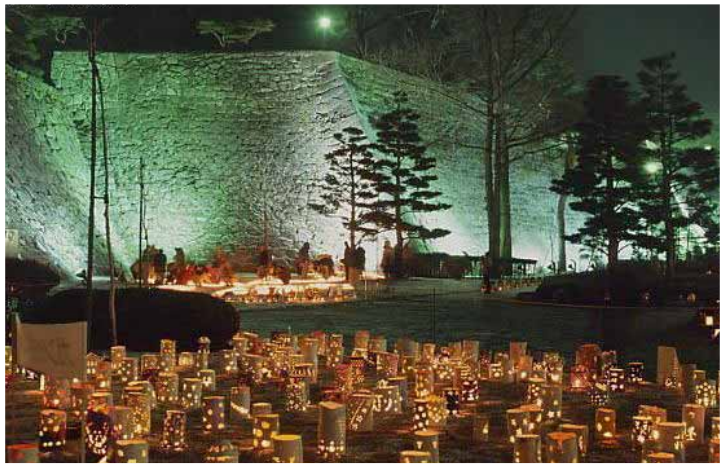
10～15分間隔

100円/回　300円/日





爽やかに、健やかに、そしてエコ
盛岡市通勤レンタサイクル社会実験
勤太郎
盛岡市では、通勤時の自転車利用を促進し、
渋滞緩和やCO2排出量の削減を図ろうと
レンタサイクルの社会実験を行ないます。
現在マイカーで通勤されている方は、
この機会に是非、トライしてみませんか。



もりおか
暮らし物語
MORIOKA BRAND